

## 9 社会科授業づくり部会 活動計画

### 1 社会科授業づくり部会で大切にしたいこと

子どもたちも先生も「社会科って楽しい」「社会科をもっと学びたい」と思えるような、授業づくりにかかわる相談、情報共有を行うこと

- ①部会委員の日頃の社会科授業づくりにおける学びたいことや悩みを出し合いながら研究内容を決定する。
- ②実践提案などで過去の提案から学んだり、指導案検討などで今後実践予定の授業づくりについて考えたりして、社会科の授業づくりのよりよい在り方について、日々の実践と結びつけながら考えることができるようにする。(参加人数や必要に応じて、学年ごとに部会をつくる。)
- ③社会科の授業実践経験が少ない先生方、市研に参加することは難しいが社会科の授業づくりについて学びたい先生方も気軽に参加して、質問したり相談し合ったりできるようにする。  
⇒会の内容に応じて、15分ほど、同学年の先生で集まり、情報交換の時間をもつ。
- ④講師の先生(校長先生や先輩先生)をお招きして、ご助言をいただくことで社会科の授業づくりについて深く学べるようにする。

### 2 構成

【市社研に所属している教諭など】

- ・各区から選出された市幹事(授業づくり部員)
- ・会長より推薦された市幹事、担当役員
- ・参加申し込みをした市社研会員

【市社研に所属していない教諭など】

- ・申し込みをした市社研会員以外の横浜市の全教員

※市研会員でなくても参加可能とする。また、年度途中での参加も可能とする。

※参加者募集のお知らせは全校に配布する。各校の社会科主任や各区の支部長より若年層(1~3年目)を中心に声をかけていただくようにする。

### 3 授業づくり部会「授業づくり講座」の進め方

- 令和3年度は3回開催を予定する。(諸般の状況により、変更の可能性あり)
- 教育委員会・ハマアップ授業づくり講座と連携し、より多くの先生方が参加をできる形をとる。

流れの例

- ①学年トーク ②テーマに沿ったワークショップ ③実践提案など

- ・授業に対する部員の問題意識に応じた内容について学ぶ。
- ・講演会形式だけでなく、少人数でのワークショップなども行う。
- ・最後に、参会された先輩先生からのお話を伺う時間を設ける。

### 4 運営方法

- ・部長や副部長が中心となってい、担当役員が補佐をする。

○部長：粟飯原里子(南区：大岡小学校)…全体の計画・運営

○副部長：佐藤安世(港北区：大綱小学校)

○副部長：田澤哲哉(泉区：西が岡小学校)

○副部長：橋口英幸(鶴見区：下野谷小学校)

副部長の担当…備品等の準備、案内等の作成・発信、資料の印刷

○担当役員：磯野哲英(西区：平沼小学校)

加藤沙智子(保土ケ谷区：星川小学校)

- ・市幹事は会の企画や運営、ミニ提案などを行う。(区研でも参加を呼びかける)
- ・「社会科授業づくり部員」は、授業づくり講座の際にファシリテーターなどの進行・記録を担当する。
- ・教育委員会と日程を調整し、「社会科授業づくり講座」を設定する。
- ・先輩先生方およびOBの先生方にも参加していただき、指導を仰ぐ。
- ・毎回の活動記録や次回の案内などを掲載したポスターを発刊する。